

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。</p> <p>生きる自己の課題</p> <p>自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p> <p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p> <p>(2) 人間としての在り方生き方</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期の特徴について、心理的離乳，パーソナリティの形成，アイデンティティの確立といった言葉を中心に理解する。</li> <li>・身近な人間関係を通して，他者とともに生きることの大切さについて理解する。</li> <li>・グローバル化の進展や大衆社会の形成を背景とした，自己の生き方に関わる課題を，現代の倫理的課題と結び付けて理解し，その解決策や解決のための自己の在り方について考察する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・哲学，宗教，芸術などから，人間の在り方を導くことができることを知る。</li> <li>・ソクラテス，プラトン，アリストテレスといった代表的な先哲とその思想について，「無知の知」「アイデア」「正義」といった言葉を手掛かりに理解する。</li> <li>・ユダヤ教など一神教における預言者の存在や神との契約について知る。</li> <li>・イエスの思想について，「アガペー」「隣人愛」といった言葉の内容について知るとともに，現代に続く世界宗教であるキリスト教の思想を，歴史的な展開を踏まえて理解し，その現代的な意義について考察する。</li> <li>・イスラーム教について，ムハンマドの言行や「六信五行」といった戒律を中心に知る。</li> <li>・ガウタマ・シッダールタの思想について，その生涯を踏まえて知るとともに，「縁起」「輪廻」といった言葉の内容を中心に理解する。</li> <li>・古代中国の思想を，孔子や孟子，老子や荘子の思想を中心に知り，日本の思想への影響を踏まえて理解する。</li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本古来の「八百万神」「清明心」について、自然に対する畏敬の念とともに知る。</li> <li>・日本の仏教の受容について、聖徳太子、聖武天皇、浄土教思想を中心に知るとともに、日本独自の仏教の発展や民衆の暮らしとの関わりを踏まえて理解する。</li> <li>・朱子学や陽明学といった日本における儒教思想の需要と展開について知るとともに、江戸時代の民衆の生活との深い関わりを踏まえて理解する。</li> <li>・江戸時代の国学の発展について、「もののあはれ」「真心」といった言葉の内容を知るとともに、現代につながる日本の文芸文化の在り方について理解する。</li> <li>・明治時代以降の日本の近代思想について、福沢諭吉、和辻哲郎、西田幾多郎の思想を中心に知るとともに、政治的・経済的・社会的な近代化の動向との関わりをについて考察する。</li> </ul>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>現 代 と 倫 理</p>	<p>ア 現代に生きる人間の倫理</p> <p>人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサンス期の思想について、ピコ＝デッラ＝ミランドラ，レオナルド＝ダ＝ヴィンチ，マキャベッリの言行を中心に知る。</li> <li>・ヒューマンイズムの思想について，エラスムスの思想を中心に知るとともに，ルターやカルヴァンといった宗教改革を進めた先哲の思想へのつながりを理解する。</li> <li>・近代科学の萌芽について，コペルニクスやニュートンの思想と行動を中心に知る。</li> <li>・近代科学の発展を支えた思想，特に経験論や合理論について，ベーコンやデカルトの思想を中心に知る。</li> <li>・近代哲学の確立について，カントやヘーゲルの思想について知るとともに，「道徳法則」といった主観論や「弁証法」といった客観的思考方法について理解し，自己の施行とのかかわりについて具体的な事象を踏まえて考察する。</li> <li>・社会契約説について，民主社会を支える原理であることを理解するとともに，現代の社会的動向との比較において考察する。</li> <li>・功利主義について，ベンサムやJ・S・ミルの思想を中心に知るとともに，「最大多数の最大幸福」といった言葉の内容を踏まえてその現代的な意義を考察する。</li> <li>・実存主義について，キェルケゴール，ニーチェ，サルトルの思想を中心に知る。</li> <li>・生命への畏敬の考え方について，マザー＝テレサやシュバイツァーの思想を中心に理解するとともに，身近な事象を踏まえて考察する。</li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の諸課題と倫理</p> <p>生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の生命をめぐる諸課題について、脳死臓器移植や出生前診断といった医療現場における状況を踏まえて理解するとともに、グループディスカッションなどにより考察する。</li> <li>・地球環境問題の現状について理解するとともに、世代間倫理の観点からその課題解決のための考え方について考察する。</li> <li>・現代の情報社会の現状について理解するとともに、IT化が進む中での人間どうしのつながりについての課題を、身近な事例を題材に考察する。</li> <li>・グローバル化と文化的・宗教的摩擦の現状について理解するとともに、多文化共生や人間尊重の原理の観点から、グループディスカッションなどにより考察する。</li> </ul>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p> <p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治の基本原則として、社会契約説の内容を知る。</li> <li>・日本国憲法における三大原理を、民主政治の歴史的展開や大日本帝国憲法との比較において理解する。</li> <li>・日本国憲法の条文を踏まえて、国会、内閣、裁判所の諸機能について知る。また、議院内閣制と大統領制、権力集中制との違いについて、主な国の政治体制との比較において理解する。</li> <li>・「法の支配」について、国家の権力を抑制する働きと人間の行動を規律する社会規範の一つであることを理解する。</li> <li>・日本国憲法が保障する基本的人権について、人権思想の歴史的展開を踏まえた上で、条文に従って理解する。</li> <li>・権利どうしの衝突や利害対立の調整としての司法の機能と、裁判員制度などの国民の司法参加について理解する。</li> <li>・日本の議会制民主主義について、条文に従って、国政選挙の制度と三権分立の在り方を中心に理解する。</li> <li>・日本の地方自治について、直接請求の制度を中心に理解する。</li> <li>・戦後日本の政党政治について、55年体制や民主党政権の誕生を踏まえて、選挙制度と関連させて理解するとともに、望ましい政治的決定の在り方を主権者としての自覚を高めつつ考察する。</li> </ul>	

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成文法・不文法といった国際法の在り方について知り、国際紛争における国際司法裁判所などの役割について知る。</li> <li>・人権、主権国家、領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の動向について知り、国際連合などの国際機関の働きについて知る。</li> <li>・国際連合の主要機関について知り、安全保障理事会の構成や仕組みについて理解する。</li> <li>・国際社会における日本の政治的役割と、日本の安全保障について理解する。</li> <li>・特に冷戦後の国際動向を踏まえて、現代の国際紛争について、その要因の多様化と紛争の未然防止の取り組みについて知る。</li> <li>・グローバル化が進展する国際社会において、国際平和の実現に向けた日本の国際貢献について知り、その在り方について考察する。</li> </ul>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代の経済</p>	<p>現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p> <p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3つの経済主体の相互関係と、貿易や為替と国民経済との関連について知る。</li> <li>・ 現代の市場経済について、財やサービスが効率的に分配される仕組みであることを知り、その課題について考察する。</li> <li>・ 市場の失敗の例として、環境問題や消費者問題があることを知る。</li> <li>・ 景気変動の波について知り、インフレーションやデフレーションの影響について理解する。</li> <li>・ 現代の日本の財政状況について知り、国民経済における租税の意義と役割について、特に所得税と消費税を取り上げて理解する。</li> <li>・ 直接金融と間接金融の違いや、日本銀行の3つの特徴について知る。</li> <li>・ アダム＝スミス、ケインズ、マルクスを中心に経済学の歴史を知り、現代の混合経済について理解する。</li> <li>・ 経済活動の在り方と国民福祉の向上との関連について、効率性と公平性との比較を、具体例を用いて理解し、その課題について考察する。</li> <li>・ 国際分業における貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みについて知る。</li> <li>・ 世界貿易機関（WTO）の主な役割や、国際通貨基金（IMF）が戦後の国際経済に果たしてきた役割について知る。</li> <li>・ 国際的な地域的経済統合および経済連携協定（EPA）の動向について知り、WTOとの関わりについて理解する。</li> <li>・ 南北問題とその解決のための具体的方策について、国連貿易開発会議などの国際機関の動きを中心に知る。</li> <li>・ 経済協力開発機構（OECD）加盟国による発展途上国に対する援助を知るとともに、日本の国際経済に対する貢献のあり方について理解する。</li> </ul>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題</p>	<p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<p>・少子高齢化，過疎と過密，経済のソフト化・サービス化といった現代の動向について知るとともに，その課題解決のための方策について考察する。</p> <p>・雇用と労働をめぐる問題について，産業構造の変化と現代の労働市場の動向を知るとともに，特に非正規雇用者が抱える問題について考察する。</p> <p>・日本の農業と食料の問題について，各国の状況との比較や貿易との関連について知るとともに，特に国内農業の保護と多国間の貿易交渉の動向について理解する。</p> <p>・地球環境と資源・エネルギー問題について，国際機関や国際会議の取り組みを踏まえて，様々な課題に対する解決の動向を知る。</p> <p>・南北問題などの国際的な経済格差と，その解決のための国際協力の動向について，特に日本とアジア諸国との関係を踏まえて知る。</p> <p>・人種・民族問題などの国際紛争の原因となる課題について具体的に知るとともに，国際的な取り組みを踏まえて，その解決のための方策について考察する。</p> <p>・国際社会における日本の立場と役割について，政府開発援助（ODA）や国連平和維持活動（PKO）における実績を踏まえて理解するとともに，政治・経済的關係だけではなく国際社会への日本の貢献について考察する。</p>



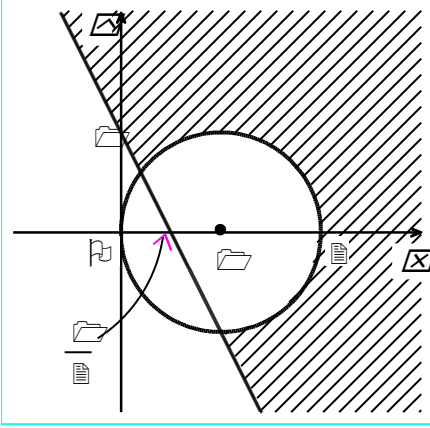
学習指導要領		都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>(1) 式と証明</p> <p>ア 式と計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3次式の展開と因数分解</li> <li>・二項定理</li> <li>・整式の割り算</li> <li>・分数式とその計算</li> <li>・恒等式</li> </ul> <p>三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。また、整式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算をすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2文字の3次式の展開や因数分解ができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例1) 次の式を展開せよ。</p> <math display="block">(2x + 3y)^3</math> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例2) 次の式を因数分解せよ。</p> <math display="block">8x^3 - 27y^3</math> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二項定理の考えを用いて、項の係数などを求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) <math>(2x - y)^7</math> の展開式における <math>x^4y^3</math> の係数を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整式の除法の考え方を活用できる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 整式 <math>x^3 + x^2 - 2x + 1</math> を整式 <math>B</math> で割ると、商が <math>x - 1</math>、余りが <math>3x - 2</math> である。 <math>B</math> を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数式の計算ができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の計算をせよ。</p> <p>(1) <math>\frac{x^2 - x - 2}{x^3 - 8}</math></p> <p>(2) <math>\frac{4x^2 - y^2}{x^2 - 4y^2} \div \frac{2x + y}{x - 2y}</math></p> <p>(3) <math>\frac{2x - 3}{x^2 - 3x + 2} - \frac{3x - 2}{x^2 - 4}</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係数を比較して恒等式の係数を決定できる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の等式が <math>x</math> についての恒等式となるように、定数 <math>a, b</math> の値を求めよ。</p> <math display="block">\frac{3x - 5}{(2x - 1)(x + 3)} = \frac{a}{2x - 1} + \frac{b}{x + 3}</math> </div>	

学習指導要領		都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>(イ) 等式と不等式の証明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等式の証明</li> <li>・不等式の証明</li> </ul> <p>等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等式の証明ができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の等式を証明せよ。</p> <math display="block">(a^2 + b^2)(x^2 + y^2) = (ax + by)^2 + (ay - bx)^2</math> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両辺を2乗して比較したり、相加・相乗平均の考え方などを用いて不等式の証明ができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) <math>a &gt; 0</math> , <math>b &gt; 0</math> のとき、次の不等式が成り立つことを証明せよ。</p> <p>(1) <math>\sqrt{a} + \sqrt{b} &gt; \sqrt{a+b}</math></p> <p>(2) <math>a + \frac{16}{a} \geq 8</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件付き等式の証明ができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の等式の証明をせよ。</p> <p>(1) <math>\frac{a}{b} = \frac{c}{d}</math> のとき、<math>\frac{a+c}{b+d} = \frac{a-c}{b-d}</math> を証明せよ。</p> <p>(2) <math>x + y + 1 = 0</math> のとき、<math>x^2 - y = y^2 - x</math> を証明せよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実部と虚部に整理して、複素数の相等の意味を理解して活用できる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の等式をみたす実数 <math>x</math> , <math>y</math> を求めよ。</p> <math display="block">(6x + y) + (3x - 2y) = 1 + 2i</math> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複素数の四則計算ができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の計算をせよ。</p> <p>(1) <math>(1 + i)^2</math></p> <p>(2) <math>i + i^2 + i^3 + i^4 + \frac{1}{i}</math></p> </div>	
<p>(2) 複素数と方程式</p> <p>(ア) 複素数と二次方程式の解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複素数とその計算</li> <li>・2次方程式の解</li> <li>・解と係数の関係</li> </ul> <p>数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>		

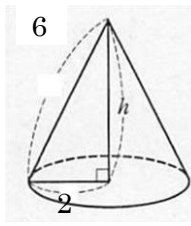
学習指導要領	都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>(イ) 高次方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剰余の定理と因数定理</li> <li>・高次方程式</li> </ul> <p>因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次方程式の解の判別について理解する。  <div data-bbox="807 324 1394 479" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の2次方程式が異なる2つの虚数解をもつように実数<math>k</math>の値の範囲を求めよ。  <math display="block">x^2 - 3x + 1 - k = 0</math> </p> </div> </li> <li>・解と係数の関係を利用して、対称式などの値を求めることができる。  <div data-bbox="807 633 1394 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 2次方程式<math>x^2 + 2x + 5 = 0</math>の2つの解を<math>\alpha, \beta</math>とすると、<math>\alpha^2 + \beta^2</math>の値を求めよ。</p> </div> </li> <li>・剰余の定理を利用して、文字の値などを求めることができる。  <div data-bbox="807 898 1394 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 整式<math>P(x) = x^3 + a^2x^2 - a - 3</math>が<math>x - 1</math>で割り切れるように、定数<math>a</math>の値を定めよ。</p> </div> </li> <li>・剰余の定理の考え方を利用して、整式の余りを求めることができる。  <div data-bbox="807 1135 1394 1326" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 整式<math>P(x)</math>を<math>x - 2</math>で割ると余りは5、<math>x + 3</math>で割ると余りは10である。<math>P(x)</math>を<math>(x - 2)(x + 3)</math>で割ったときの余りを求めよ。</p> </div> </li> <li>・因数定理を用いて因数分解ができる。  <div data-bbox="807 1429 1394 1489" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) <math>x^3 - 3x^2 - 4x + 12</math>を因数分解せよ。</p> </div> </li> <li>・因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。  <div data-bbox="807 1608 1394 1798" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の方程式を解きなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) <math>x^4 - 1 = 0</math></li> <li>(2) <math>x^3 + 1 = 0</math></li> <li>(3) <math>x^4 - x^3 - x^2 - x - 2 = 0</math></li> </ol> </div> </li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>(3) (ア) 点と直線</p> <p>図形と方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直線上の点</li> <li>・平面上の点</li> <li>・直線の方程式</li> <li>・2直線の関係</li> </ul> <p>座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面上の2点から等距離にある座標軸上の点を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) A (2, -3), B (5, -2) から等距離にあるy軸上の点を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点対称な点の座標を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) A (6, -1) に関して、点B (4, 3) と対称な点Cの座標を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 2点A(2,1), B(-4,4)がある。線分ABを2:1に内分する点Pと2:1に外分する点Qの座標を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二直線の垂直条件を用いて、ある直線に関して対称な点の座標を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 直線<math>x - 2y - 1 = 0</math>に関して点A (2, 3) と対称な点Bの座標を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二直線の交点を求めることができる。さらに、他の直線との関係について考察できる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の3直線が1点で交わるとき定数<math>k</math>の値を求めよ。  <math>x + 2y - 1 = 0</math>, <math>x - y + 2 = 0</math>,  <math>kx - y + 3 = 0</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2点を通る直線の方程式を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 2点A (2, 5), B (4, 9), を通る直線の方程式を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式を用いて点と直線の距離を求めることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 点A (-1, 2) と直線<math>y = 3x - 5</math>の距離を求めよ。</p> </div>



学習指導要領	都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p> <p>(4) 三角関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ 三角関数の応用 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法</p>	<p>(6,0) と点 Q を結ぶ線分 AQ の中点 P の軌跡を求めよ。</p> <p>・連立不等式などの表す領域を図示することができる。また、図示された領域から不等式を求めることができる。</p> <p>(例1) 次の連立不等式の表す領域を図示せよ。</p> $\begin{cases} x + y - 2 < 0 \\ x^2 + y^2 - 2x < 0 \end{cases}$ <p>(例2) 次の図の斜線部分の領域を表す不等式を求めよ。</p>  <p>ただし、境界を含まない。</p> <p>・扇形の面積や周の長さに関して考察できる。</p>



学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>による角度の表し方について理解すること。三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。</p>	<div data-bbox="813 257 1380 660" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(例) 右図のように底面の半径が2，母線の長さが6の円すいがある。次の問に答えよ</p>  <p>(1) 高さ<math>h</math>を求めよ。                  (2) 側面を展開して得られる扇形の中心角<math>\theta</math>を求めよ。</p> </div> <p>• <math>y = f(\theta - a), y = af(\theta), y = f(b\theta)</math> のグラフをかくことができる。</p> <div data-bbox="813 963 1380 1276" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(例) 次の関数のグラフをかけ。また、その周期を答えよ。</p> <p>(1) <math>y = \sin \theta + 1</math>                  (2) <math>y = 3 \cos \theta</math>                  (3) <math>y = \cos(\theta + \frac{\pi}{3})</math></p> </div> <p>• 公式を活用して証明することができる。</p> <div data-bbox="813 1388 1380 1702" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(例) 次の等式を証明せよ。</p> <p>(1) <math display="block">\frac{\sin \theta}{1 + \cos \theta} - \frac{\cos \theta - 3}{\sin \theta} = \frac{4 - 2 \cos \theta}{\sin \theta}</math></p> <p>(2) <math display="block">\frac{\sin^2 \theta - \cos^2 \theta}{1 + 2 \sin \theta \cos \theta} = \frac{\tan \theta - 1}{\tan \theta + 1}</math></p> </div> <p>• 三角関数を含む方程式、不等式の解を求めたり、三角関数の最大や最小について考察できる。</p>

学習指導要領	都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>(イ) 加法定理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法定理</li> <li>・加法定理の応用</li> </ul> <p>三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>	<div data-bbox="810 246 1375 819" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例1) <math>0 \leq \theta &lt; 2\pi</math> のとき、次の方程式、不等式を解け。</p> <p>(1) <math>2\cos^2 \theta - \sin \theta = 1</math></p> <p>(2) <math>2\cos^2 \theta - 1 \geq 0</math></p> <p>(例2) 関数 <math>y = 2\cos \theta</math> について、以下の場合の最大値、最小値を求めよ。また、そのときの <math>\theta</math> の値を求めよ。</p> <p>(1) <math>0 \leq \theta \leq \frac{2}{3}\pi</math></p> <p>(2) <math>0 \leq \theta \leq \frac{5}{4}\pi</math></p> </div> <p>・加法定理を理解し、活用できる。</p> <div data-bbox="810 1010 1375 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例1) <math>\alpha</math> が鋭角で、<math>\beta</math> が鈍角で <math>\cos \alpha = \frac{1}{4}, \sin \beta = \frac{2}{5}</math> のとき、<math>\sin(\alpha - \beta), \cos(\alpha + \beta)</math> の値を求めよ。</p> <p>(例2) 次の2直線 <math>4x + y = 0, -5x + 3y = 0</math> のなす角 <math>\theta</math> を求めよ。</p> <p>ただし、<math>0 &lt; \theta &lt; \frac{\pi}{2}</math> とする。</p> </div> <p>・加法定理から導き出された様々な公式を活用できる。</p> <div data-bbox="810 1630 1375 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) <math>0 \leq x &lt; 2\pi</math> のとき、次の方程式、不等式を解け。</p> <p>(1) <math>\sin 2x = \cos x</math></p> <p>(2) <math>3\cos x &lt; \cos 2x + 2</math></p> </div> <p>・三角関数の合成を用いて、方程式や不等式を解くことができる。</p>
<p>(5) 指</p>	<p>(ア) 指数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数の拡張</li> </ul>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>数関数と対数関数</p>	<p>・指数関数 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解すること。指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) <math>0 \leq x &lt; 2\pi</math> のとき、次の方程式、不等式を解け。</p> <p>(1) <math>\sin x + \cos x = 1</math></p> <p>(2) <math>\sqrt{3} \sin x - \cos x \geq 0</math></p> </div> <p>・指数法則や累乗根の性質を利用して、2重根号をはずしたり、累乗の異なる数の乗法や除法、同じ累乗根の加法や減法の計算をしたりできる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の計算をせよ。ただし、<math>a &gt; 0</math>、<math>b &gt; 0</math> とする。</p> <p>(1) <math>\sqrt[3]{\sqrt{27}}</math></p> <p>(2) <math>\left\{ \left( \frac{25}{9} \right)^{\frac{3}{4}} \right\}^{-\frac{2}{3}}</math></p> <p>(3) <math>\sqrt[8]{64} \times \sqrt[4]{32}</math></p> <p>(4) <math>\sqrt[3]{24} + \sqrt[3]{192}</math></p> <p>(5) <math>(a^3b)^{-2} \div (a^{-2}b^2) \times (ab^4)^{\frac{3}{2}}</math></p> </div> <p>・指数関数 <math>y = a^x</math> のグラフの特徴を踏まえ、<math>y = a^{x-p}</math>、<math>y = a^x + q</math> の形の指数関数のグラフがかける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の指数関数のグラフをかけ。</p> <p>(1) <math>y = 3^{x-1}</math></p> <p>(2) <math>y = \left( \frac{1}{2} \right)^x - 2</math></p> </div> <p>・指数が有理数の範囲まで拡張された数や累乗根の大小関係について求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の数の大小関係を、不等号&lt;を用いて表せ。</p> <p>(1) <math>\left( \frac{1}{4} \right)^3</math>、<math>2^{-4}</math>、<math>\left( \frac{1}{8} \right)^0</math></p> <p>(2) <math>\sqrt{3}</math>、<math>\sqrt[3]{9}</math>、<math>\sqrt[3]{81}</math></p> </div>

学習指導要領	都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>(イ) 対数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対数とその性質</li> <li>・対数関数</li> <li>・常用対数</li> </ul> <p>対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな指数方程式、指数不等式を、<math>a^x = b</math>、<math>a^x &gt; b</math>などの形に帰着して解くことができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の方程式、不等式を解け。</p> <p>(1) <math>4^{x-1} = 8</math></p> <p>(2) <math>\left(\frac{1}{3}\right)^{2x} \leq \frac{1}{9\sqrt{3}}</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対数の性質を用いて、四則計算ができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の計算をせよ。</p> <p>(1) <math>\log_{\sqrt{5}} \frac{1}{25}</math></p> <p>(2) <math>\log_3 5 \cdot \log_5 7 \cdot \log_7 9</math></p> <p>(3) <math>\log_2 \sqrt{2} - \frac{1}{2} \log_2 3 + \log_2 \frac{\sqrt{3}}{2}</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対数関数 <math>y = \log_a x</math> のグラフの特徴を踏まえ、<math>y = \log_a (x - p)</math>、<math>y = \log_a x + q</math> の形の対数関数のグラフがかけられる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の対数関数のグラフをかけ。</p> <p>(1) <math>y = \log_2 (x - 3)</math></p> <p>(2) <math>y = \log_{\frac{1}{2}} x + 2</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やや複雑な対数の大小関係を求められる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例) 次の数の大小関係を、不等号&lt;を用いて表せ。</p> <p style="text-align: center;"><math>7 \log_5 3, 6 \log_5 4, 4 \log_5 7</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つ以上の対数を含む対数方程式、対数不等式を解くことができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 次の方程式、不等式を解け。</p> <p>(1) <math>\log_2 (x - 1) + \log_2 (x + 3) = 5</math></p> <p>(2) <math>\log_2 x + \log_2 (x - 3) &lt; 2</math></p> </div>

学習指導要領	都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>(6) 微分法と積分法</p> <p>(ア) 微分の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・微分係数</li> <li>・導関数とその計算</li> <li>・接線の方程式</li> </ul> <p>微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p> <p>(イ) 関数の値の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関数の増減と極大・極小</li> <li>・関数の増減・グラフの応用</li> </ul> <p>導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分</p>	<p>・常用対数を用いて、自然数の桁数や小数第何位に0でない数が現れるかなどを求められる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1) <math>2^{50}</math> は何桁の数か。</p> <p>ただし、<math>\log_{10} 2 = 0.3010</math> とする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例2) <math>\left(\frac{1}{3}\right)^{40}</math> は小数第何位に初めて0でない数が現れるか。ただし、<math>\log_{10} 3 = 0.4771</math> とする。</p> </div> <p>・3次までの整式で表された関数について、平均変化率や極限を利用して微分係数や導関数を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1) 定義にしたがって、次の関数の導関数を求めよ。</p> <math display="block">y = 2x^2 - 5x</math> </div> <p>・微分係数の値等の与えられた条件からその関数を決定することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 次の条件をすべて満たす2次関数を求めよ。</p> <math display="block">f(0) = 2, f'(0) = -3, f'(1) = 1</math> </div> <p>・<math>x</math>以外の変数を含む場合の導関数を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 半径<math>r</math>の球の表面積<math>S</math>と体積<math>V</math>をそれぞれ<math>r</math>の関数と考え、<math>S</math>と<math>V</math>を<math>r</math>で微分せよ。</p> </div> <p>・放物線上にない点から放物線に引いた接線の方程式および接点の座標を求めることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 放物線<math>y = x^2 + 4</math>に点(1, 1)から引いた接線の方程式と、接点の座標を求めなさい。</p> </div> <p>・2次や3次の関数について、増減や極値を調べる等の考察できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 関数<math>f(x) = x^3 - 12x + 4</math>の増減を調べ、極値を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	都立町田総合高校 学力スタンダード
<p>の考えを事象の考察に活用すること。</p> <p>(ウ) 積分法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不定積分</li> <li>定積分</li> <li>定積分と面積</li> </ul> <p>不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めること定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事象の考察を微分の考え方をを用いることができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 一辺の長さが 12 cm の正方形がある。この四隅から一辺の長さが <math>x</math> cm の正方形を切りとって、直方体を作る。この箱の容積が最大になるときの <math>x</math> の値を求めよ。またそのときの体積求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>3次関数の極値や極値をとるときの <math>x</math> の値から、その関数を決定することができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) 関数 <math>f(x) = x^3 + ax^2 + bx - 2</math> が <math>x = -1</math> で極大値をとり、<math>x = 3</math> で極小値をとるように、定数 <math>a</math>、<math>b</math> の値を定めなさい。また、極値を求めよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数の増減を調べたりグラフをかいたりし、3次方程式の実数解の個数を求めたり、不等式を証明することができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1) 方程式 <math>x^3 - 3x - 1 = 0</math> の実数解の個数を求めよ。</p> <p>(例2) <math>x \geq 0</math> のとき、不等式 <math>x^3 + 16 \geq 12x</math> が成り立つことを証明せよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>関数や積分区間に文字定数を含む定積分の計算ができたり、定積分の様々な性質を利用して効率よく計算することができる。また <math>\int_a^x f(t)dt</math> の導関数が <math>f(x)</math> であることを理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例1) 次の式を計算せよ。</p> <p>(1) <math>\int_{-1}^2 (x^2 - 3x + 2)dx - \int_{-1}^2 (x^2 - 3x - 2)dx</math></p> <p>(2) <math>\int_{-2}^3 (2x^3 - 4x)dx + \int_1^3 (4x - 2x^3)dx</math></p> <p>(例2) 等式 <math>\int_a^x f(t)dt = x^2 - 2x + 1</math> を満たす関数 <math>f(x)</math>、および定数 <math>a</math> を求めよ。</p> </div>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
	<p>・放物線や直線で囲まれた部分の面積を求めることができる。</p> <div data-bbox="810 322 1394 488" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>(例) 放物線 <math>y = x^2 - 1</math> と直線 <math>y = x + 1</math> で囲まれた図形の面積を求めなさい。</p></div>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p>	<p>ア 運動の表し方                      (ア) 物理量の測定と扱い方                      身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方                      物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度                      物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き                      (ア) 様々な力                      物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い                      物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則                      運動の三法則を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動                      物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>10^n</math>を表すk(キロ)やm(ミリ)などの代表的な接頭語を使用できる。</li> <li>・物理量の単位は、基本単位を組み合わせることができる組立単位であることを知る。</li> <li>・定義に基づき速度を理解し、<math>x-t</math>グラフから、速度の大小及び正負を判断できる。</li> <li>・日常の事象を基に、直線上の合成速度、相対速度について知る。</li> <li>・<math>v-t</math>グラフから速度の増減を認識し、加速度の大小及び正負を判断できる。</li> <li>・重力、垂直抗力、張力、摩擦力(静止摩擦力・動摩擦力)、弾性力、浮力がどのような力であるかを知り、それぞれを図を用いて表現できる。また、重力や弾性力については、それぞれの大きさが計算できる。</li> <li>・力の合成、分解の作図ができる。また、力がつり合っている場合、力のベクトル和が0になることを理解する。</li> <li>・二つの力学台車による衝突実験などから、力が働くときには二つの物体が互いに力を及ぼし合っていることを知る。</li> <li>・慣性の法則に関連した現象を、日常生活から挙げることができる。</li> <li>・加速度の大きさは加えた力の大きさに比例し、物体の質量に反比例することを理解する。</li> <li>・自由落下の運動の公式を用いて、1秒ごとの落下速度や距離が計算でき、空気中の落下における空気抵抗の影響について知る。</li> <li>・鉛直投射などを通して、重力加速度の向きは常に下向きであることについて知る。</li> <li>・仕事の定義を理解し、力の向きと物体の移動の向きが同じである場合や逆の場合、垂直の場合の仕事の計算ができる。</li> <li>・単位時間当たりの仕事の仕事率であることを、単位を含めて理解する。</li> <li>・仕事をする能力をもった物体はエネルギーをもつことを理解し、エネルギーの変化量と仕事との関係について知り、運動エネルギー</li> </ul>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>ウ 力学的エネルギー (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>ア 熱 (ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。</p> <p>(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。</p> <p>イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。</p> <p>(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。</p>	<p>一や重力による位置エネルギーを、公式を用いて計算できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力学的エネルギーは位置エネルギーと運動エネルギーの和であることについて理解する。</li> <li>・力学的エネルギーの保存（運動エネルギーと重力による位置エネルギー）に関する計算ができる。</li> <li>・絶対温度とセ氏温度との換算ができ、物質の三態が温度によって変化することを知る。</li> <li>・熱の出入りと温度変化の関係を理解し、比熱、熱容量、潜熱について知る。</li> <li>・熱に関する現象が不可逆変化であること、熱はエネルギーであり、仕事が熱に、熱の一部が仕事に移り変わることについて知る。</li> <li>・<math>y-x</math> グラフで振幅や波長を読み取ることができ、進行する正弦波において、速さ・周期・振動数・波長の関係を知り、縦波と横波の違いについて理解する。</li> <li>・実験を通して波の独立性について理解し、三角波などの簡単な波の重ね合わせを作図できる。</li> <li>・進行波と定常波の違いや、弦の定常波などから、定常波には腹と節があることを知る。</li> <li>・オシロスコープなどを用いて音の三要素を知り、大きさと振幅、高さや振動数の関係について理解する。また、共鳴や共振、うなりについて知る。</li> <li>・弦の振動や気柱による共鳴が定常波であり、弦や管の長さにより音の高さが変化することを知る。また、空気中の音の速さと温度との関係を理解する。</li> <li>・具体的な物質の例から導体と不導体の違いについて理解し、抵抗値が物質の種類、抵抗の長さ、断面積に関係すること及び電流が自由電子の流れによることを知る。</li> </ul>	

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>ウ 電気</p> <p>(ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。</p> <p>(イ) 電気の利用 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。</p> <p>エ エネルギーとその利用</p> <p>(ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。</p> <p>オ 物理学が拓く世界</p> <p>(ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コイルに磁石を出し入れすると、正負が交互に入れ替わる電圧が発生することについて理解する。</li> <li>・交流は変圧器によって容易に電圧が変えられることを知る。</li> <li>・可視光線や電波が電磁波の一種であること、電磁波の伝わる速さが光速であることについて知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気エネルギーを得るために利用している自然界のエネルギー源について知る。</li> <li>・放射能と放射線の意味、放射線量の単位について知る。</li> <li>・霧箱で放射線の軌跡を観察できることを知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていることについて、例えばX線はレントゲン撮影に利用されていることを知る。</li> </ul>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>序 科学 と 人間 生活</p>	<p>ア 化学と人間生活とのかかわり (ア) 人間生活の中の化学 日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高めること。</p> <p>(イ) 化学とその役割 日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を理解すること。</p>	<p>暮らしの中で使用している物質について、その成り立ちや構造・性質等について考える。</p>
<p>(1) 物質 の 構成</p>	<p>1 物質の探究 (ア) 単体・化合物・混合物 物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けること。</p> <p>(イ) 熱運動と物質の三態 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解すること。</p> <p>2 物質の構成粒子 (ア) 原子の構造 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解すること。</p>	<p>資源の有効活用，食品の保存，使用量の適切化等現代社会における化学の役割について、日常生活に関係していることを中心に学ぶ。</p> <p>物質の分離・精製，成分元素の確認などについて実験を通して学ぶとともに、化学実験における基本操作等を身につける。</p> <p>物質を構成する粒子の熱運動と、粒子間の引力の大小関係から物質の三態を理解する。</p> <p>物質が原子からできており、その原子が陽子，中性子，電子の3種類の粒子で構成されていること。また、原子を構成する粒子の性質について学ぶ。</p>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
(2) 物質の構成	<p>(イ) イオンの生成, 周期表 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解すること。</p>	<p>原子の電子配置から価電子の数を確認し、元素の周期表における位置関係と周期律について学ぶ。また、単原子イオンの生成について学ぶ。</p>
	<p>1 物質と化学結合</p> <p>(ア) イオン結合 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解すること。</p>	<p>イオン結合でできた物質の組成式の作り方を学ぶ。</p>
	<p>(イ) 分子と共有結合 共有結合を電子配置と関連付けて理解すること。また、分子からなる物質の性質を理解すること。</p>	<p>共有結合と分子の成り立ちについて学ぶ。共有結合をボーアモデル, 電子式, 構造式で示し結合について理解する。</p>
	<p>(ウ) 金金属結合 金属結合及び金属の性質を理解すること。</p>	<p>自由電子による金属結合を学ぶ。また、金属の結晶格子のうち面心立方格子, 体心立方格子, 六方最密構造について確認する。</p>
	<p>(エ) 化学結合と物質</p>	<p>結合の種類から各結晶を分類し、その性質を整理する。また、身のまわりの物質の成り立ちについて結晶の種類から分類し確認する。</p>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(3) 物質 の 変 化</p>	<p>1 物質量と化学反応式</p> <p>(ア) 物質量 物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。</p> <p>(イ) 化学反応式 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解すること。</p> <p>2 酸と塩基</p> <p>(ア) 酸・塩基と中和 酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解すること。</p> <p>3 酸化還元反応</p> <p>(イ) 酸化と還元 酸化と還元が電子の授受によることを理解すること。また、酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解すること。</p>	<p>物質量と粒子数・質量・標準状態の気体の体積についての関係を理解し、数的処理ができるようにする。</p> <p>化学変化を化学反応式で示すことができるようにする。また、化学変化の際の量的な関係も理解する。</p> <p>酸と塩基の定義、水素イオンと pH, 中和と塩基について学ぶ。また、中和滴定の実験を行い、中和の量的関係について理解を深める。</p> <p>酸化還元反応を、酸素・水素・電子の授受、酸化数の変化によって理解する。 電池の実験、電気分解の実験を行い、酸化還元反応についての理解を深める。</p>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 生物と遺伝子</p>	<p>ア 生物の特徴</p> <p>(ア) 生物の共通性と多様性 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。</p> <p>(イ) 細胞とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。</p> <p>イ 遺伝子とその働き</p> <p>(ア) 遺伝情報とDNA 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解すること。</p> <p>(イ) 遺伝情報の分配 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解すること。</p> <p>(ウ) 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球には、さまざまな環境の中、多様な生物が生息していることに気づく。</li> <li>・生物が共通に持つ特徴をあげることによって「生きている」とはどういうことであるか理解する。</li> <li>・すべての生物は「細胞」からできているという共通性を理解する。</li> <li>・細胞の構造を知ることにより、原核細胞と真核細胞、動物細胞と植物細胞の共通性と多様性を理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の集団と非生物的環境が互いに関係して、生態系をつくっていることを理解する。</li> <li>・生態系は多種多様な生物によって構成されており、それぞれの生物が役割を担っていることを理解する。</li> <li>・陸上には草原や森林などの様々な植生が見られ、それらは不変ではなく、長期的には移り変わっていくことを理解する。</li> <li>・森林生態系を例にとって、その植生が時間とともにどのように変化していくか、遷移の過程を理解する。</li> <li>・資料をもとにして二次遷移の過程を考察する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温と降水量の違いによって、地球上では様々なバイオームが成立していることを理解する。</li> <li>・植物を中心とした世界と日本のバイオームについて理解する。日本のバイオームについては、標高に応じたバイオームの変化についても理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系において物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが循環することを理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスについて理解し、生態系を保全することが重要であることを認識する。</li> <li>・人為的に移入された生物が生態系にどのような影響を与えるかを、文献や資料を用いて具体的に考察する。</li> </ul>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(2) 生物の体内環境の維持</p>	<p>ア 生物の体内環境</p> <p>(ア) 体内環境 体内環境が保たれていることを理解すること。</p> <p>(イ) 体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解すること。</p> <p>(ウ) 免疫 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞は水のほかタンパク質、炭水化物、脂質、核酸などの有機物を含んでいることを理解する。</li> <li>・細胞内では分解や合成などの代謝が行われ、その際に同時にエネルギーの出入りや変換を伴うことを理解する。</li> <li>・細胞の中でエネルギーの受け渡しにATPという物質が関わっていることを理解する。</li> <li>・細胞内での代謝には触媒として酵素が必要であることを理解するとともに、酵素のはたらきや性質についても理解する。</li> <li>・光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられ、化学エネルギーに変換されることを理解する。</li> <li>・呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されることを理解する。</li> <li>・共生説に触れることで、葉緑体とミトコンドリアが原核生物に由来することを理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヌクレオチドの構造やDNAの二重らせん構造、塩基間の相補性について理解する。</li> <li>・DNAの構造が遺伝情報を担いうる特徴を持っていることを理解する。</li> <li>・身のまわりの材料を用いてDNAを抽出することで、どんな生物もDNAを持つことを理解する。</li> <li>・DNAの塩基配列が遺伝情報であることを理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体細胞分裂の過程について染色体の動きを追いながら理解する。</li> <li>・体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。</li> <li>・細胞周期の間期にDNAが複製され、分裂期にDNAが等しく分配され、その結果どの細胞でもDNAの量と質が均一になることを理解する。</li> <li>・塩基の配列を正確に複製する方法について理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンパク質合成に際して、DNAの塩基配列がアミノ酸配列に置き換えられることを理解する。</li> <li>・すべての遺伝子が常に発現しているのではなく、個体の部位に応じて発現している遺伝子が異なっていることを理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(3) 生物の多様性と生態系</p> <p>ア 植生の多様性と分布                      (ア) 植生と遷移                      陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。</p> <p>(イ) 気候とバイオーム                      気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。</p> <p>イ 生態系とその保全                      (ア) 生態系と物質循環                      生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解すること。</p> <p>(イ) 生態系のバランスと保全                      生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生物の体内環境が保たれていることと、それに循環系・自律神経系・内分泌系がかかわっていることを理解する。</li> <li>• 血液の組成とはたらきについて理解する。</li> <li>• 肝臓のつくりとはたらきを学習することで、肝臓で様々な物質の合成・分解・貯蔵が行われて体液の成分が保たれることを理解する。</li> <li>• 自律神経系の分布とはたらきを理解する。</li> <li>• 交感神経と副交感神経が拮抗的にはたらいっていることを理解する。</li>   <li>• ホルモンとは何かということ、はたらきや性質を学習することによって理解する。</li> <li>• 内分泌腺からのホルモンの分泌と標的細胞でのホルモンの受容について理解する。</li> <li>• ホルモン分泌量の調節が、視床下部からの指令やフィードバック調節によって行われていることを理解する。</li> <li>• 血糖値が、自律神経のはたらきやホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解する。</li> <li>• 身近な疾患の例としてインスリンの分泌不足による糖尿病があることを理解し、健康への関心を喚起する。</li>   <li>• 病原体などの異物から身を守るために、それらの侵入を防ぐしくみや、それらを白血球やリンパ球のはたらきで排除するしくみがあることを知る。</li> <li>• 免疫には自然免疫と適応免疫があり、それらをつなぐはたらきをする細胞として樹状細胞があることを知る。</li> <li>• 細胞性免疫のしくみを理解し、あわせて臓器移植での拒絶反応がこの免疫によっておこることを理解する。</li> <li>• 体液性免疫のしくみと、この免疫でつくられた抗体により抗原抗体反応がおこることを理解する。</li> <li>• 適応免疫ではT細胞やB細胞の一部が記憶細胞となり、このことが同一病原体の2度目の侵入への備えとなることを理解する。</li> <li>• 免疫システムを応用した感染症の予防として、予防接種について理解する。</li> <li>• 免疫システムを応用した感染症の治療として、血清療法について理解する。</li> <li>• 免疫システムが過敏にはたらくアレルギーについて理解し身近な疾患例として花粉症などがあることを知る。</li> <li>• 免疫に関する身近な例として、免疫システムがはたらかなくなるエイズについて理解する。</li> </ul>	



学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
(1) 宇宙の進化	宇宙の構造と進化	<p>恒星などの集団である銀河が分布している宇宙について、その誕生と現在のすがたを理解させることがねらいである。</p> <p>「宇宙の誕生」については、ビッグバンを扱い、誕生の過程で水素やヘリウムの原子核がつくられたことに触れる。その際、宇宙が膨張していることを取り上げることが考えられる。</p> <p>「銀河の分布」については、銀河系を含む銀河群、銀河団の存在を取り上げ、大規模構造にも触れる。地球が太陽系の一員として誕生し、生命を生み出す環境をもつ惑星となった過程を理解させることがねらいである。</p> <p>「太陽系の誕生」については、原始太陽系星雲から惑星が形成されたことを扱う。その際、惑星の形成過程で物質の分化により内部に層構造が形成されたことに触れる。「地球の特徴」については、原始の地球が、太陽からの距離、質量、大きさなどによって、生命をはぐくむ海が形成される環境に至ったことを中心に扱う。その際、海の形成と関連して原始の大気を取り上げることが考えられる。</p>
	太陽と惑星	
(2) 地球の変遷と生物の進化	生命の変遷	<p>原始大気は酸素がなかったが、シアノバクテリアの光合成により、酸素が徐々に増加した。</p> <p>エディアカラ動物群（ベンド生物群）については、図などを用いて、その特徴をとらえさせる。</p> <p>カンブリア爆発、陸上への生物の上陸、古生代末の大量絶滅など時間の流れと環境変化の中でとらえる。</p> <p>古生代以降の代表的な化石については、できるだけ標本を見せておきたい。</p> <p>ハチュウ類、特に恐竜、被子植物の出現、白亜紀末の大量絶滅を関連付けて説明する。</p> <p>人類の進化を系統立てて理解させる。</p>
	地層や岩石の観察	<p>地層が形成される仕組みや場所を理解させる。</p> <p>構成する粒子の違いから堆積岩の分類し、地層累重の法則について理解させる。</p> <p>示準化石による年代決定、示相化石による環境推定について整理して把握させる。</p> <p>地殻変動によって形成されるしゅう曲・断層・不整合を理解させる。</p> <p>既存の岩石が生成時と異なる温度・圧力下で岩石中の鉱物の化学組成や結晶構造が変わる作用を変成作用といい、変成作用で生じた岩石を変成岩ということを理解し、代表的な変成岩を観察し、特徴を把握させる。</p>

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
(3) 私 た ち の 地 球	大地とその動き	<p>地球の内部は構成物質や状態の違いから、地殻、マントル、外核、内核に分かれた層構造をしていることを理解させる。</p> <p>物質は同じだが、温度の差による粘性の違いで名称が変わることに注意する。流動しやすい部分が下、流動しにくい部分が上の構造になっていることを理解しプレートの動きにつなげる。</p>
	地震	<p>地震による揺れのもと断層運動により生じた波であり、地震を測る方法についてマグニチュードと震度の違いを理解させる。</p> <p>地震波のエネルギーはマグニチュードが1大きくなると約32倍、2大きくなると1000倍になることを示す。</p>
	火山	<p>火山はプレートの運動と関連していて、プレート境界に多く分布していることを理解させる。</p> <p>火山災害について科学的に理解させる。</p> <p>地域性を意識して取り上げる。</p>
	大気と海洋	<p>大気の構造については、上空にいくほど大気の密度が減少すること、また温度分布によって分けられていることを説明する。</p> <p>大気の大循環は結局、低緯度と高緯度間の熱量の平衡を保つために起こっていることを示す。</p> <p>海水の構造についても、温度の鉛直分布によって分けられていることを説明する。</p> <p>海流や深層循環などの海水の運動を理解させる。</p>
(4) 地 球 の こ れ か ら	地球環境の考え方	<p>自然環境が人間生活と密接に関わっていることを、データなどを用いて理解させる。</p>
	自然環境の変動	<p>地球を大気圏、水圏、雪氷圏、岩石圏、生物圏などからなる地球システムとみなすことができることを理解させる。</p> <p>自然環境の変動性の1つとして、エルニーニョ現象とラニーニャ現象を理解させる。</p> <p>オゾン層の破壊と地球温暖化問題についてデータなどを用いて理解させる。</p>
	日本の自然環境	<p>日本の自然がもたらす恩恵として、水や景観を理解させる。</p>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めたり、言い換えて確認したりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・ 聞き取れない単語や未知の語句があっても、つながりを示す語句 (as a result, however, in other words, on the other hand など) に注意したり、具体例を参考にしながら、内容を推測したりするなどして聞き続けることができる。</li> <li>・ 100 語程度の事物に対する紹介や報告などを聞いて、メモを取るなどして、それらに含まれる事実や意見の概要や要点を捉えて、聞き続けることができる。</li> <li>・ 対話や討論などを聞いて、立場の違いや、それぞれの主張を正確に理解し、事実と意見や考えを区別しながら聞き続けることができる。</li> <li>・ 自然な速さで話された30 秒程度の対話や討論を聞き、話し手の意見や立場を理解して、自分の考えをもつことができる。</li> <li>・ 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図や立場を把握し、自分の考えを考慮しながら質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・ リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握し、内容の展開を理解することができる。</li> <li>・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じて英和辞典を活用しながら、400～700 語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、事実や書き手の意見や考えを正確に捉え、書かれている内容について自分の考えをもつことができる。</li> <li>・ 教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、文脈や、文法及び構文についての知識を用いて推測したり、背景となる知識を活用したりして読み続けることができる。</li> <li>・ 教科書の文章などの単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>話すこと</p>	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書などの50 語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することができる。</li> <li>・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、議論の中心となる「論点」やそれに係わる「根拠」を明確にすることができる。</li> <li>・概要や要点を把握するために速読したり、詳細を理解するために精読したりするなど、目的に応じた読み方を選択することができる。</li> <li>・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の構成、段落間の関連などを考えて読み進めることができる。</li> <li>・幅広い情報（例えば商品広告や公共施設の利用案内など）や平易なデータ（例えばアンケート結果など）が示されている図表を読み取ることができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。</li> <li>・英語学習者向けの英字新聞や雑誌、インターネット上の記事を読んで、情報や意見を読み取ることができる。</li> <li>・1年間に、サイドリーダーを2冊以上読む。</li> <li>・400～700 語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、根拠を示しながら文章で答えることができる。</li> <li>・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、ワークシートやメモなどを活用しながら、その概要を英語で相手に伝えることができる。</li> <li>・ペアやグループで、多様な捉え方ができる話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見を交換したりして、結論を導くことができる。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いたり、具体例を挙げたりして、情報や考えを相手に伝えることができる。</li> <li>・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で話すことが</li> </ul>



	学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループでの話合いや発表で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。</li> <li>・つながりを示す語句などを適切に用いながら、論理の展開を明確にして話すことができる。</li> <li>・新聞記事やニュースなどの情報に基づき、話し合ったり意見の交換をしたりする際に、相手の論点を把握し、自分の考えについて根拠などを示して話すことができる。</li> <li>・聞き手を意識し、相手に分かりやすく効果的に伝わる表現を選んで話すことができる。</li> <li>・他の生徒が話した内容や話し方について、良かった点や改善点を伝えることができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解することができる。</li> <li>・学んだことや経験したに基づき、幅広い話題について書く目的を明確に設定して50～100語程度の文章を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章について、パートごとに、50語程度の要約文を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに50～100語程度で書くことができる。</li> <li>・トピック・センテンスやサポーティング・センテンスの構成を考え、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の一貫性がある文章を書くことができる。</li> <li>・幅広い話題について、図表を活用して情報や考えなどを伝えるために、グラフにおける数値の増減、状況の変化を示す表現を用いて、適切に書くことができる。</li> <li>・文章を書く前に、自分の考えや関連する情報などを整理して、全体の構成を考えることができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、他の生徒や教師の意見を参考にしたりしながら、読み手を意識した文章を書くことができる。</li> <li>・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを積極的に活用して書く。</li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、語句や文法の誤りを正したり、読み手に効果的に伝わるように助言したりすることができる。</li><li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。</li></ul>

教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、内容を推測するなどして聞き続けることができる。</li> <li>・50 語程度の長さの事物に対する紹介や報告などを聞いて、それらに含まれる事実や意見の概要や要点を大まかに捉えることができる。</li> <li>・対話や討論などを聞いて、立場の違いや、それぞれの主張を大まかに捉えて、聞き続けることができる。</li> <li>・自然な速さで話された 10 秒程度の対話を聞き、概要や要点を捉えることができる。</li> <li>・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話の主題や話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・基本的な文章のリズムやイントネーションを捉え、話し手の意図や気持ちを把握し、聞くことができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。</li> </ul>
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英和辞典を正しく使いながら、300～400 語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、概要や要点を捉えることができる。</li> <li>・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、推測しながら読み続けることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。</li> <li>・教科書などの 15 語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することができる。</li> <li>・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、論理展開を理解することができる。</li> <li>・概要や要点を把握するために読んだり、詳細を理解するために読んだりすることができる。</li> <li>・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の大まかな流れを考えて読み進めることができる。</li> <li>・身近な情報（例えば交通機関の時刻表やレストラン</li> </ul>

学習指導要領		都立町田総合高校 学力スタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<p>のメニューなど) が示されている図表から必要な情報を読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要となる基本的な文化的背景について理解する。</li> <li>・1年間に、サイドリーダーを1冊以上読む。</li> <li>・300～400語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、簡単な英語の質問を聞いて、YES/NO 又は単語や語句、短い文で答えることができる。</li> <li>・教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用しながら、英語で相手に伝えることができる。</li> <li>・ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。</li> <li>・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、リズムやイントネーションを意識して、十分な声の大きさと話することができる。</li> <li>・日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。</li> <li>・自分の意見や考えを単に述べるだけでなく、理由や例示を加えて話することができる。</li> <li>・図やグラフなどの資料を使って、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</li> <li>・他の生徒が話したことについて、感想を伝えることができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要となる基本的な文化的背景について理解することができる。</li> </ul>
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の語句や表現、文法事項を活用して、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について20～50語程度の文章を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに20～50語程度</li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
	<p>で書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を用いながら、文章を書くことができる。</li> <li>・身近な情報が示されている図表やデータについての説明を書くことができる。</li> <li>・文章を書く前に、自分の考えを整理して、箇条書きで書くことができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、既にもっている知識を駆使しながら、読み手の立場に立って分かりやすい文章を書くことができる。</li> <li>・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを活用して書く。</li> <li>・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、相手を書いた文章についての感想を書くことができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。</li> </ul>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
(1) 商 業 の 学 習 ガ イ ダ ン ス	ア 商業を学ぶ目的と学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスが商品の生産・流通・消費にかかわる様々な事業活動であることを知り、将来のスペシャリストを目指して自己の能力を高めるためには、基礎・基本の学習が重要であることを理解する。</li> <li>・商業の学習を通して、ビジネスが我々の生活に欠かせないものであることを知り、ビジネスの実践力や豊かな人間性などを身に付けることが重要であることを理解する。</li> <li>・卒業後、自らも経済社会の一員としてビジネスにかかわっていくことを意識し、日常生活や将来の職業と関連付けた学習を心掛けるとともに、主体的・継続的な学習態度が重要であることを理解する。</li> </ul>
	イ 商業の学習分野と職業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業で学習するマーケティング、ビジネス経済、会計及びビジネス情報の4分野の概要を知り、各学習の内容がどのような職業に役立っているかを理解する。</li> <li>・選択科目として履修する各科目の学習内容と自身の将来の進路希望を結び付けて、科目ごとに習得すべき資格や技能等の目標を定めることができる。</li> </ul>
(2) ビ ジ ネ ス と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	ア ビジネスに対する心構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要なビジネスマナーや遵法精神の意義を理解し、挨拶、礼の仕方、電話応対など基本的な所作を身に付けることができる。</li> <li>・協調性や倫理観、自己責任など、ビジネスに対する心構えや考え方について理解する。</li> </ul>
	イ コミュニケーションの基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの場面に応じた言葉の使い方、話の聞き方、話し方、表情など基礎的なコミュニケーションの方法を理解し、話し相手や時と場所をわきまえた態度、言葉遣いや身だしなみなどが実践できる。</li> </ul>
	ウ 情報の入手と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの諸活動に必要な情報を様々なメディアや公的機関等から入手する方法を理解し、入手した文字、数値、画像、図表などの情報を利用できるデータとして適切に整理・活用できる。</li> <li>・入手できる情報の中には古い情報や誤った内容が含まれている可能性があることを知り、データの信頼性について確認することの重要性を理解する。</li> <li>・ビジネスとしての売買の在り方を知り、取引成立にかかわる契約の締結から履行までの一連の手続きについて理解する。</li> </ul>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
(3) ビジネスと売買取引	ア 売買取引とビジネス計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利息、商品代金、外国貨幣、度量衡など、ビジネスに関する基礎的・基本的な計算ができる。</li> <li>・代金決済の方法や通貨、小切手、手形、クレジットカード、電子マネーなどの支払用具について、それぞれの特徴や利点、使用時の留意点について理解する。</li> </ul>
	イ 代金決済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の生産から流通、消費に至る経済活動の仕組みについて理解する。</li> </ul>
(4) 経済と流通の基礎	ア 経済の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地、資本及び労働力といった生産要素について理解する。</li> <li>・企業、家計及び政府（財政）といった経済主体の役割と、経済の循環について理解する。</li> <li>・需用と供給の関係による市場における価格形成について理解し、身近な例を用いて説明できる。</li> <li>・ビジネスの場面におけるトレード・オフと機会費用について理解する。</li> </ul>
	イ ビジネスの役割と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本の整備、技術革新、雇用機会の増大など、ビジネスの諸活動が経済の発展に寄与する役割について理解し、具体例を挙げて説明できる。</li> <li>・サービス経済化や情報化、グローバル化など、我が国のビジネスを取り巻く経済環境の変化について知り、今後のビジネスの発展について考察できる。</li> <li>・今日のビジネスが直面する環境問題、エネルギー問題、食料問題などの諸課題について知り、その課題解決に向けたビジネスの在り方について理解する。</li> </ul>
	ウ 経済活動と流通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産と消費の隔たりについて理解し、その隔たりを解消するための流通の意義や機能について説明できる。</li> <li>・生産から消費に至る流通の役割分担の変化を知り、小売商や卸売商などの役割について理解する。</li> <li>・今日の商品流通の仕組みと機能を知り、マーケティングの意義と役割について理解する。</li> </ul>
	エ ビジネスの担い手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者、卸売業、小売業、金融業、保険業、運輸業、情報通信業など、生産から消費の過程にかかわるビジネスの担い手の概要や役割について、理解する。</li> <li>・ビジネスの担い手である企業の役割や現在の動向について理解</li> </ul>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
(5) 企 業 活 動 の 基 礎	ア 企業の形態と経営組織	し、企業に求められる社会的責任や倫理について説明できる。
	イ 資金調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスにかかわる様々な企業の形態と経営組織の種類と特徴について説明できる。</li> <li>・新たなビジネスの創造や起業家精神、企業経営の指針となる経営理念について理解し、その重要性について説明できる。</li> </ul>
	ウ 企業活動と税	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業活動に必要な資金の調達方法とその特徴について理解する。</li> <li>・企業活動にかかる税の種類と概要、及び申告と納付の概要について理解する。</li> </ul>
	エ 雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国における企業の雇用形態の特徴について理解する。</li> <li>・雇用の安定や福利厚生など雇用に伴う企業の責任について理解する。</li> </ul>



学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開、主要な内容を的確にとらえ、その論理性について分析、考察して批評することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論説や評論において、補足や反証などの関係や段落の構成を的確にとらえ、それぞれの働きや関係によってどのように論が展開されているか説明することができる。</li> <li>・小説において、全体の骨組みをとらえ、場面や人物の設定がその後の話の推移にどのように有機的に働いているかを把握し、適切に説明することができる。</li> <li>・構成や展開の仕方をたどりながら、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方などの主要な内容とその他とを区別し、論点を適切に説明することができる。</li> </ul>
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>文章を読んで、書き手の意図を理解したり、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を十分に感じ取り、深く味わうことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論説や評論において、書き手の主張や意図を、書き手の思考の進め方に着目しながら理解し、執筆動機に迫ることができる。</li> <li>・登場人物の人物像や心情の変化及びその過程について、書き手の意図を意識して的確に読み取り、説明することができる。</li> <li>・漢語や和語の美しさやリズム、叙述や表現の巧みさなどを感じ取り、的確に説明することができる。また、表現に即した朗読などを通して作品への理解を深めることができる。</li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>多種多様な文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を多角的な視点から評価しながら、自己の人間観、社会観、自然観などを確立することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで、視点や評価の異なる文章と比較し、その特色や価値を多角的に論じることができる。</li> <li>・文章を読んで自分の考えを深め、人間観、社会観、自然観などの確立に結び付けることができる。</li> </ul>
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>目的や課題に応じて、適切に収集した情報の価値判断をし、分析、整理して作成した資料を効果的に用いて、論拠を示しながら、自分の考えを述べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や課題に応じて適切な方法を考え、事典、新聞、書籍やウェブページなどで調べたり、インタビューやアンケート調査をしたりするなど様々な方法を利用して、与えられた条件にふさわしい情報を収集することができる。</li> <li>・収集した情報を整理して、自分が活用しやすい資料を作成することができる。</li> <li>・作成した資料を活用して、論拠を明確にしながら自分の考えを表現することができる。</li> </ul>
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>語句の意味、用法についての的確に理解し、文体の特色や表現技法、語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら、自分の表現や推敲に活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章について、語句の意味・用法を的確に理解し、また効果的に用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち主要なもの（概念、普遍、アイデンティティ、ロジックなど）の意味を正しく理解し、また用いることができる。</li> <li>・新聞の社説や新書などを正確に理解することができる。</li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
	<p>・ 比喩、反復、倒置、省略、対句などについて理解し、文章中の技法について説明するとともに、自らも用いることができる。</p>



学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p> <p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開、主要な内容を的確にとらえ、その論理性について分析、考察して批評することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例の効果や主張の位置づけについての的確にとらえることができる。</li> <li>・論説や評論において、補足や反証などの関係や段落の構成を的確にとらえ、それぞれの働きや関係によってどのように論が展開されているか説明することができる。</li> <li>・小説において、全体の骨組みをとらえ、場面や人物の設定がその後の話の推移にどのように有機的に働いているかを把握し、適切に説明することができる。</li> <li>・構成や展開の仕方をたどりながら、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方などの主要な内容とその他とを区別し、論点を適切に説明することができる。</li> </ul> <p>文章を読んで、書き手の意図を理解したり、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を十分に感じ取り、深く味わうことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学者の世界のとらえ方を知り、豊かな批評力を培う。</li> <li>・文章を要約する力を身につけ、考え方を正確に読み取ることができる。</li> <li>・論説や評論において、書き手の主張や意図を、書き手の思考の進め方に着目しながら理解し、執筆動機に迫ることができる。</li> <li>・登場人物の人物像や心情の変化及びその過程について、書き手の意図を意識して的確に読み取り、説明することができる。</li> <li>・漢語や和語の美しさやリズム、叙述や表現の巧みさなどを感じ取り、的確に説明することができる。また、表現に即した朗読などを通して作品への理解を深めることができる。</li> </ul> <p>多種多様な文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を多角的な視点から評価しながら、自己の人間観、社会観、自然観などを確立することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の発想をとらえながら読み、発想の転換によ</li> </ul>



学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>って生じる多角的な視点を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで、視点や評価の異なる文章と比較し、その特色や価値を多角的に論じることができる。</li> <li>・文章を読んで自分の考えを深め、人間観、社会観、自然観などの確立に結び付けることができる。</li> </ul> <p>目的や課題に応じて、適切に収集した情報の価値判断をし、分析、整理して作成した資料を効果的に用いて、論拠を示しながら、自分の考えを述べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や課題に応じて適切な方法を考え、事典、新聞、書籍やウェブページなどで調べたり、インタビューやアンケート調査をしたりするなど様々な方法を利用して、与えられた条件にふさわしい情報を収集することができる。</li> <li>・収集した情報を整理して、自分が活用しやすい資料を作成することができる。</li> <li>・作成した資料を活用して、論拠を明確にしながら自分の考えを表現することができる。</li> </ul> <p>語句の意味、用法についての的確に理解し、文体の特色や表現技法、語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら、自分の表現や推敲に活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章について、語句の意味・用法を的確に理解し、また効果的に用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち主要なもの（概念、普遍、アイデンティティ、ロジックなど）の意味を正しく理解し、また用いることができる。</li> <li>・新聞の社説や新書などを正確に理解することができる。</li> <li>・比喩、反復、倒置、省略、対句などについて理解し、文章中の技法について説明するとともに、自らも用いることができる。</li> </ul>



学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史への扉</p> <p>自然環境と人類のかかわり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史にかかわる適切な主題を設定し考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気付かせる。</p> <p>ア 自然環境と人類のかかわり 自然環境と人類のかかわりについて、生業や暮らし、交通手段、資源、災害などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり 日本と世界の諸地域の接触・交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付かせる。</p> <p>ウ 日常生活にみる世界の歴史 日常生活にみる世界の歴史について、衣食住、家族、余暇、スポーツなどから適切な事例を取り上げて、その変遷を考察させ、日常生活からも世界の歴史がとらえられることに気付かせる。</p> <p>人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを把握させる。</p>	<p>時間と空間、地理的環境が人類の文化に与える影響について概観し、理解する。</p>	

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
(2) 諸地域世界の形成	<p>ア 西アジア世界・地中海世界 西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。</p> <p>イ 南アジア世界・東南アジア世界 南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。</p> <p>ウ 東アジア世界・内陸アジア世界 東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。</p>	<p>オリエント（メソポタミア・エジプト）で生まれた文明とその特徴について理解する。</p> <p>地中海世界（古代ギリシア・古代ローマ）の文明の特徴について理解する。</p> <p>西アジア世界（オリエント）と地中海世界の関わりについて（ヘレニズム、ローマ帝国とササン朝）理解する。 南アジアのインダス文明の特徴について理解する。</p> <p>アーリア人のインド侵入と、初期インド社会の形成について理解する（バラモン教、ヴァルナ制）</p> <p>古代インドの国制（マウリヤ朝、クシャーナ朝、グプタ朝、ヴァルダナ朝）について特徴を理解する。</p> <p>黄河文明の特徴について理解する。</p> <p>古代中国の国制（殷、周、春秋時代、戦国時代、秦、前漢、新、後漢）の特徴について理解する。</p> <p>東アジア世界の中での遊牧民族の活動とその特徴について理解する。</p> <p>三国時代、魏晋南北朝時代の特徴について理解する。</p> <p>隋、唐の各王朝時代の特徴について理解する。</p> <p>日本や内陸アジア世界と東アジア世界の関係について俯瞰し、理解する。</p>

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>エ 時間軸からみる諸地域世界</p> <p>主題を設定し、それに関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたり、地域世界ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p> <p>ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。</p>		<p>古代ローマの歴史などを課題とし、歴史の流れを理解するために年表作成などの作業を行う。</p>
<p>(3) 諸地域世界の交流と再編</p> <p>ア イスラーム世界の形成と拡大</p> <p>アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。</p>		<p>イスラーム教の成り立ちとイスラーム世界の成立と拡大について理解する。</p> <p>イスラーム教の特徴について理解する。</p> <p>西アジアで生まれたイスラーム教が、アフリカ、中央アジア、南アジア、東南アジアなどに広がっていく過程を理解する。</p>

学習指導要領	都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>イ ヨーロッパ世界の形成と展開 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。</p> <p>ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界 内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。</p>	<p>民族移動の混乱の中からヨーロッパ世界が成立していく過程について理解する。</p> <p>西ヨーロッパの封建制社会の特徴について理解する。</p> <p>いわゆる中世ヨーロッパ世界の国制（イギリス、フランス、ドイツなどを中心に）について理解する。</p> <p>ビザンツ帝国の国制の流れとその特徴について理解する。</p> <p>いわゆる中世ヨーロッパ世界におけるキリスト教の発展と、その影響力について理解する。</p> <p>いわゆる中世ヨーロッパ世界の変質（商業の発達、都市の発達、キリスト教の影響力の減退、王権の伸長）などについて理解する。</p> <p>五代十国時代、宋王朝の時代の中国の歴史について理解する。</p> <p>モンゴル民族の発展とその世界に与えた影響について理解する。</p> <p>農耕民族と遊牧民族の交流と対立の過程について理解する。</p>

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
(4) 諸地域世界の結合と変容	<p>エ 空間軸からみる諸地域世界</p> <p>同時代性に着目して主題を設定し、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p> <p>アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p>	<p>イブン=バトゥータ、マルコ=ポーロなどの旅行家の足跡などを課題として、近代以前の各地域世界の違いと交流について確認する。</p>
	<p>ア アジア諸地域の繁栄と日本</p> <p>西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>アッバース朝以降のイスラーム世界の歴史について把握し、理解する。</p> <p>中国の明、清王朝の前期の特徴について把握し、理解する。</p> <p>明、清王朝と東アジアの諸地域（朝鮮半島、日本）の関わりについて把握し、理解する。</p>

学習指導要領	都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p> <p>ウ 産業社会と国民国家の形成 産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p>	<p>西ヨーロッパの歴史に大きな影響を与えたルネサンス、大航海時代、宗教改革の各出来事についてその特徴を理解する。</p> <p>西ヨーロッパの国王を中心とした主権国家体制の成立とその特徴について理解する。</p> <p>16世紀から18世紀にかけて、ヨーロッパ勢力がアジア、アフリカに進出し、世界の一体化が始まり、それが各地域にどのような影響を与えたのかについて理解する。</p> <p>近代社会をもたらしたイギリスを中心とした産業革命、フランス革命、アメリカの独立革命などを中心に西ヨーロッパ社会の激動と社会の移り変わりについて理解する。</p> <p>ウィーン体制崩壊後のヨーロッパ社会の移り変わりについて理解する（国民国家の形成、自由主義の台頭、イタリア・ドイツの統一）</p>



学習指導要領	都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>エ 世界市場の形成と日本 世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19世紀のアジアの特質とその中での日本の位置付けを理解させる。</p> <p>オ 資料からよみとく歴史の世界 主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。</p> <p>科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日の人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p>	<p>アジアの巨大な専制帝国（オスマン帝国、ムガル帝国、ティムール、明、清）の成り立ちと特徴について理解する。</p> <p>19世紀後半のアジアやアフリカ諸国の動揺と改革、欧米諸国との対立の原因と経過について理解する。</p> <p>19世紀のアジア社会の中での日本の特徴を理解する。</p> <p>マカートニーの中国訪問使節日記などの資料を手がかりとして、異文化との出会いや理解、衝突について理解する。</p> <p>資本主義の発達やそれに伴って生じた帝国主義などのヨーロッパ諸国の展開が、世界全体（特にアジアとアフリカ）に影響を及ぼしていく過程について理解する。</p>

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
(5) 地球世界の到来	<p>ア 帝国主義と社会の変容 科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p> <p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現 総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p> <p>ウ 米ソ冷戦と第三世界 米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。</p>	<p>帝国主義の展開から引き起こされた二つの世界大戦の原因とその経過、また結果として起こったことについて理解する。</p> <p>社会主義・共産主義の特徴とそこから生まれた社会主義諸国の展開について理解する。</p> <p>世界恐慌から生じた資本主義諸国の変容や、そこから生じてくる第二次世界大戦の原因と経過について理解する。</p> <p>アジア・アフリカ諸国の民族運動の特徴について理解する。</p> <p>第二次世界大戦後の世界の情勢（特に資本主義と社会主義の対立）について理解する。</p> <p>第二次世界大戦後のアジア・アフリカ諸国の独立運動と現代につながる課題について理解する。</p> <p>第三世界諸国の台頭について理解する。</p> <p>20世紀後半からの冷戦の終結にともなう世界の多極化、グローバル化の展開と進展について理解する。</p> <p>ソヴィエト連邦の解体、中華人民共和国の変容など、社会主義政策の行き詰まりについて理解する。</p> <p>資源問題・民族問題・宗教問題などさまざまな原因から、各地で地域紛争がやまない現状について理解する。</p>

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
<p>エ グローバル化した世界と日本 市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。</p> <p>オ 資料を活用して探究する地球世界の課題 地球世界の課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、資料を活用し表現する技能を習得させるとともに、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>第二次世界大戦後の日本と世界の諸地域の関係やつながりについて理解する。</p> <p>世界の穀物の需要量・生産量などの統計グラフを手がかりとして、統計資料の読み取り方と統計資料と歴史を理解することのつながりについて触れる。</p>	



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 原始・古代の日本と東アジア</p> <p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽<sup>ほうが</sup>について考察させる。</p>	<p>原始社会の特色について基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。教科書、資料集、ICT教材を活用し、歴史的思考力・判断力を身につけさせ、自分なりの意見を発表する力をつけさせる。</p> <p>ア、原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を提示し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなどを理解させる。</p> <p>イ、旧石器文化、縄文文化および弥生文化の成立などを基に原始社会の特色を理解させる。我が国の律令体制の確立までの過程を学び、また日本を取り巻く東アジア情勢の歴史的背景をふまえて、古代国家の形成と展開、文化の特色などを理解させる。</p> <p>ウ、古代の土地政策の基礎的・基本的な理解を、資料を活用して理解させる。平安時代の政治や経済、東アジアとのつながりを学び、古代国家の推移と文化の特色などを理解させる。</p>	

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(2) 中世の日本と東アジア</p> <p>ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 中世社会の展開 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>中世国家と社会や文化の特色について基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。教科書、資料集、ICT教材を活用し、歴史的思考力・判断力を身につけさせ、自分なりの意見を発表する力をつけさせる。</p> <p>ア、中世の特色を示す適切な歴史資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察し理解を深めさせる。</p> <p>イ、武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について理解させる。</p> <p>ウ、日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について理解させる。</p>	

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(3) 近世の日本と世界</p> <p>近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の説明 歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</p> <p>イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。</p>	<p>近世国家と社会や文化の特色について基礎的・基本的な知識を身に着けさせる。教科書、資料集、ICT教材を活用し、歴史的思考力・判断力を身につけさせ、自分なりの意見を発表する力をつけさせる。</p> <p>ア、近世の特色を示す適切な歴史資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察し理解を深めさせる。また江戸時代の人々の暮らしや文化などを調べ、近現代の生活基盤の形成へつながっていることを理解させる。</p> <p>イ、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて理解させる。</p> <p>ウ、幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について理解させる。</p>	

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(4) 近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>近代日本の形成と世界</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立</p> <p>開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p> <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化</p> <p>国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>近代国家と社会や文化の特色について基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。教科書、資料集、ICT教材を活用し、歴史的思考力・判断力を身につけさせ、自分なりの意見を発表する力をつけさせる。</p> <p>ア、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について理解させる。</p> <p>イ、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について理解させる。</p> <p>ウ、国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について理解させる。</p>	



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(5) 両世界大戦期の日本の世界</p>	<p>近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p> <p>ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p>	<p>戦前の政治や経済、社会の特色について基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。教科書、資料集、ICT教材を活用し、歴史的思考力・判断力を身につけさせ、自分なりの意見を発表する力をつけさせる。</p> <p>ア、政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について理解させる。</p> <p>イ、国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について理解させる。</p> <p>ウ、国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて理解させる。</p>

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(6) 現代の日本と世界</p>	<p>現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会                      占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化                      戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 歴史の論述                      社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>戦後日本の歩みや、現代の社会や国民生活の特色について、日本を取り巻く環境をふまえて考察させ、基礎的・基本的な知識を身に着けさせる。教科書、資料集、ICT教材を活用し、歴史的思考力・判断力を身につけさせ、自分なりの意見を発表する力をつけさせる。</p> <p>ア、占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について理解させる。</p> <p>イ、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について理解させる。</p> <p>ウ、社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード

学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たち生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幸福、正義、公正」などの考え方が、身の回りの課題を考察する基盤であることを知る。</li> <li>・「生命倫理」「環境と経済」を取り上げ、様々な対立点から合意形成できるよう、グループで話し合いながら理解と考察を深める。</li> </ul>
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な社会の状況や先哲の思想を知り、社会とかわり合うなかで社会的・心理的な自立を遂げていくことを知る。</li> <li>・「第二の誕生」「境界人」「心理的離乳」「アイデンティティ」といった言葉の内容を知り、自己の社会的状況や将来の社会における職業生活について、それぞれの進路を踏まえて個人で考察する。</li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義                      基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配                      個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会契約説の基本的な考え方を理解し、日本や欧米の歴史的状況を踏まえて民主政治と国家の在り方について知る。</li> <li>・日本国憲法が保障する基本的人権の内容を、憲法の条文に従って知る。</li> <li>・個人と国家の関係の視点から国民主権の考え方を知り、それを直接的に実現する日本の選挙制度について、過去の選挙公報や模擬投票などを行って理解する。</li> <li>・日本国憲法における平和主義の考え方について、前文・第9条および国際社会における日本の役割と関連させて理解する。</li> <li>・日本の政治制度について、三権分立を基盤とした三権それぞれの在り方を、戦後政治史を踏まえて理解する。</li> <li>・政治とマスメディアとの関係を、新聞各紙の比較や現実の政治の動向を調べるなどを通じて関心を深めるとともに、そのうちの一つの事象についてのディスカッションなどにより考察する。</li> <li>・個人の生命・自由及び幸福追求の権利が最大限尊重されなければならないことを、身の回りの具体的な事柄を取り上げながら理解する。</li> <li>・法や社会規範が生活のあらゆる領域に関わり、基本的人権を守る役割をしていることを、身の回りの具体的な事柄を取り上げながら理解する。</li> <li>・日本の裁判所の種類、「司法権の独立」「三審制」「裁判員制度」について知り、模擬裁判などを通じて司法制度の在り方を理解する。</li> <li>・生命尊重の精神を、時事問題を取り上げながら理解させ、人間や生命の尊厳についてグループで話し合いながら考察し、それぞれの自覚を深める。</li> </ul>

学習指導要領	都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p> <p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済社会の変容について、アダムスミス、ケインズの思想を中心に、産業構造やライフスタイルの変化に着目させて知る。</li> <li>・需要と供給の関係および「価格の自動調節機能」を、身の回りの生産物やグラフを用いて理解する。</li> <li>・財政について、身近な租税と社会保障を取り上げて知り、社会生活との関連を理解する。</li> <li>・銀行などの金融機関と企業・家計の関連について、チャートやグラフを用いて知るとともに、日本銀行の役割について視聴覚教材等を用いて理解する。</li> <li>・戦後日本の経済史について、高度経済成長と2000年代の経済状況を中心に知り、社会生活における影響について理解する。</li> <li>・日本国憲法に規定された勤労の権利と義務について、非正規雇用の増加などに代表させる現代の雇用・労働問題について、具体的な事象とそれぞれの進路を関連させて理解する。</li> <li>・日本の社会保障制度の意義と役割について、「国民皆保険・皆年金」を中心に知る。</li> <li>・「企業の社会的責任」「アカウンタビリティ」「コンプライアンス」といった言葉の内容を知り、企業・家計の経済活動と環境保全・社会貢献との関連について具体的な事象を取り上げてディスカッションなどにより考察する。</li> </ul>



学習指導要領		都立町田総合高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	



